



20大経第270号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

大 桑 村 長



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付、国道企第37号にて依頼の標記について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

長野県大桑村

- ・ 木曽川右岸道路の建設促進を要望します。
- ・ 県道、村道への取り付け改良を要望します。
- ・ 登坂車線、右折車線の設置を要望します。
- ・ 交通安全施設（信号機、センターポール等）の設置を要望します。
- ・ 地域の高齢化に伴い、歩道、歩道橋など、交通弱者に配慮した施設整備を要望します。
- ・ 沿道にゴミを捨てないよう、ドライバーのマナー向上を促すとともに、ゴミを捨てにくい道路環境づくりを要望します。

○現状と課題

- ・ 大型車両の増加等により、生活道路としての機能が低下しています。
- ・ 国道通行不能時においては、他町村への車両通行が著しく制限されるため、災害時や緊急時の対応に大きな不安を抱えています。
- ・ 県道、村道への取付け構造の悪い箇所が多く、車両の安全な通行に支障をきたしています。
- ・ 流通車両の増加、大型化に対応した道路環境づくりと、代替道路（木曽川右岸道路）の整備が急務です。
- ・ 国道を通行するドライバーのマナーが非常に悪く、沿道やパーキングにはゴミが散乱しています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

長野県大桑村

地域の実情に即した道路整備により、地域住民の利便性はもとより、交流人口の増大、産業の振興による地域経済の発展に期待します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

長野県大桑村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
危機管理の強化	木曽川右岸道路の整備	・ 国道19号通行不能時の迂回路として、緊急時の住民生活対策と流通機能の確保 ・ 大型車両が増加する中、地域の高齢者ドライバーが安全に走行できる道路の確保	